

仮想マシンサーバ (ESX) の IP アドレス変更手順

対応バージョン

SSC1.3

概要

管理対象仮想マシンサーバ (ESX) のIPアドレスを変更する場合、SigmaSystemCenterのコンポーネント(SystemProvisioning, DeploymentManager, SystemMonitor性能監視, ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent) に影響があります。また、VirtualCenterに仮想マシンサーバをIPアドレスで登録している場合、IPアドレスを変更する前に、一旦VirtualCenterから仮想マシンサーバの登録を削除する必要があります。

各コンポーネントへの影響

SigmaSystemCenter の各コンポーネントについて、以下の設定変更が必要です。

[SystemProvisinoning]

ESX 上の仮想マシンは一旦全て SystemProvisioning 上から削除されます。そのため、削除された仮想マシンを、再度 VM 用グループに登録する手順が必要となります。

[DeploymentManager]

管理サーバ for DPM とクライアントサービス for DPM 間の通信は、IP アドレスを使用しています。管理対象マシンの再起動または、管理対象マシンで DeploymentManager サービスの再起動が必要です。

[SystemMonitor 性能監視]

SystemMonitor 性能監視で IP アドレスを指定して性能データ取得を実施している場合、SystemMonitor 性能監視上の管理対象マシンの IP アドレスの設定を変更する必要があります。

- SystemProvisioning の構成反映機能を利用している場合

SystemProvisioning での作業後の構成反映のタイミングで最新の IP アドレス情報が設定されるため、新たな設定は必要ありません。

- SystemProvisioning の構成反映機能を利用していない場合

SystemMonitor 性能監視の管理コンソールから手動で IP アドレスの変更を行ってください。

[ESMPRO/ServerManager, ServerAgent]

ESMPRO/ServerManager で、管理対象マシンの IP アドレスを変更する必要があります。

- (1) 統合ビューア上に登録されている管理対象マシンのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- (2) [基本]タブの[IP アドレス]をダブルクリックし、IP アドレスを変更してください。

変更手順

以下に、仮想マシンサーバの IP アドレスの変更手順を記載します。

(1) [VirtualCenter での操作]

VirtualCenter で IP アドレスを変更する仮想マシンサーバを選択し、[Remove from Inventory] を実行して登録を削除します。

この際に仮想マシンサーバに登録されているテンプレート名を記録しておいてください。

(2) [SystemProvisioning での操作]

[データベースの情報を更新] を実行します。

該当仮想マシンサーバ上の仮想マシンは、SigmaSystemCenter 上から削除されます。

(3) [仮想マシンサーバでの操作]

仮想マシンサーバの IP アドレスを変更します。

サービスコンソール上で以下のコマンドを実行してください。

```
esxcfg-vswif -i X.X.X.X -n Y.Y.Y.Y vswifZ
```

X.X.X.X は変更後の IP アドレス

Y.Y.Y.Y はサブネットマスク

vswifZ はサービスコンソールの仮想ネットワークインターフェース名

vswifZ は、以下のコマンドを実行することで確認できます。

```
esxcfg-vswif -l
```

設定を有効にさせるため、ESX Server の再起動を行ってください。

(4) [VirtualCenter での操作]

仮想マシンサーバを VirtualCenter に再登録します。

(5) [VI Client での操作]

仮想マシンサーバに、(1)で記録しておいたテンプレートを再登録します。

(6) [SystemProvisioning での操作]

[データベースの情報を更新] を実行します。

(7) [SystemProvisioning での操作]

手順 (2) で削除された仮想マシンをソフトウェアのインストールを行わずに VM 用グループに登録します。

作成日: 2009/03/02